



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

〔第三六六号〕

啓蟄<sup>けいちつ</sup>

三月五日

## 福鼓堂

弥生三月。春を実感する頃となりました。暦は、地中の虫が地上へはい出す啓蟄<sup>けいちつ</sup>へ。小さな虫たちの姿が見られるようになります。

おかげ横丁に、「福鼓堂<sup>ふつこどう</sup>」という名前のギャラリーが開店。月に二度ほどの企画展示を行います。たしかに先日お邪魔したときは、てぬぐい展でしたが、今回はがらりと趣きが変わり、革製品がずらりと並んでいました。福鼓堂は、おほらい町通りに面し、以前はジャム屋だったところにあります。ギャラリーとは、おかげ横丁には珍しく思いました。発案者の工芸担当の山本直美さんに聞いてみると、「テーマは福です。伊勢へ来られる方々は何か良いことがありそうとわくわくされているので、この店では鼓を打つと音が出るように福がたくさん出てくるような、そんな店にしたいと考えました」。その思いを店名の福鼓堂に表していたのです。

私が訪れた二月中頃は、「春の張る財布」展。三月十二日の財布の日にちなみ企画されました。店内には、色とりどりの財布のほか、バックや小物など革製品がずらり。ヤギ皮のカバンの軽さに驚いたり、セミオーダーの牛革スニーカーに感心したり、革製品の説明を聞いていると楽しい気持ちになりました。また、革製品は食用の肉をさばいた後の皮を使用すること、大きな一枚の牛皮もバック用に切り取った残りの皮も小物に使うなど、一頭の牛のすべてを使い切るようにしていると知りました。SDGSの目標「つくる責任つかう責任」にもかなっているように思いました。

三月は「幸せの箸(橋)渡し」展を開催、箸や伊賀焼が展示されます。月に二度展示が変わりますから、内宮前のぶらり歩きに立ち寄りたいたいギャラリーです。

文 千種清美



# おかげの里便り

## おかげ横丁

### ○『竹内浩三まんがのよろづや展』

伊勢市出身で太平洋戦争で戦死した詩人、竹内浩三が中学生時代に書いたマンガを紹介します。学校生活、暮らし、旅行記、日記、似顔絵…たくさんのマンガ展示の他、マンガを使った塗り絵やクイズラリーで遊ぶこともできます。春休みは、竹内浩三のマンガでお楽しみください。

と き／3月19日(土)～3月27日(日) 10:00～17:00

ところ／伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」

### ● まんがのよろづや資料展示

「竹内浩三とマンガ」をテーマに、映画、マンガ等で、竹内浩三の魅力を紹介します。

### ● フォトコーナー

昭和の世界にタイムスリップしたような古いラジオや時計、自転車などをセットした背景と竹内浩三の切り出しとともに記念写真が撮れます。

### ● 紙芝居「竹内浩三ものがたり」と体験会

短い生涯を明るくユーモラスに生きた竹内浩三を描いたものがたりです。

と き／3月19日(土)、27日(日) 約20分

お問い合わせ／おかげ横丁総合案内「おみやげや」電話0596-23-8838

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、内容の一部または全体を中止する場合があります。

## 五十鈴塾

### ○『楽しい俳句』

わずか17文字にいろいろなことを詠みこむ俳句。

筆記用具さえあればいつでもどこでも楽しめる手軽な趣味。

難しいことをいえば貴族社会で楽しまれていた連歌から始まり、俳諧となり、芭蕉が芸術にまで高めた究極の短詩です。

これを生み出したのが日本人であることは世界に誇るべきことです。

日本語のリズムは知らず知らず5・7・5になっているといわれます。つまり誰もが俳句を作る下地は持っているのです。

いまや世界の人々が作る俳句、一度ぜひ作ってみてください。石井先生がわかりやすくノウハウを教えて下さいます。

と き／3月23日(水) 10:00～12:00

講師／石井 いさお (煌星俳句会主宰)

参加費／一般 2,100円 会員 1,600円

場所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となる可能性があります。

## 五十鈴茶屋

### ○『節気菓子』

さわらびじょうよ

早蕨薯蕷

早蕨は、万葉集に「萌え出づる春になりけるかも」と季節の便りにも詠まれています。よもぎ入りの薯蕷生地でこし餡を包み、春の色そのままに淡い緑で染めました。

さほひめ

佐保姫

奈良に都があった当時、都から見て春を指す東方に位置していた佐保山には、佐保姫という春の女神が宿っていました。

粒あんを雪平生地と羊羹で包み込み姫君の衣に見立てました。

はる がすみ

春 霞

山々が霞む春の景色はどこか絵画を思わせませす。

羊羹と浮島でその一面を形取り、陽災もかすかに立ち昇る春霞の景色に似せました。